

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援事業所はなうた		
○保護者評価実施期間	R6年4月1日		R6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	R6年4月1日		R6年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	R6年4月1日		R6年10月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先施設に対しての事業の趣旨や訪問支援の目的について適切に説明を行っていること。	・訪問先へ、訪問契約後の初回訪問前と年度初めに趣旨説明を行い、訪問の流れについて共通理解した上で訪問を開始している。 ・二回目以降の訪問の日程調整に依頼時にも、目的とねらいを明記して日程調整をおこなっている。	
2	・保育所等訪問実施後に訪問先施設と保護者様へ支援内容等の報告をしている。	・訪問実施後に、訪問先の担当者と5分程度の支援内容と質問事項等を含めた振り返りを行っている。支援内容の詳細については、6日以内に書面もしくは電話にて、訪問先の都合の良い方法で伝えるようにしている。また、保護者様にも同様の書面での報告を行い、情報共有をはかっている。また、ご家庭で取り組めることについても伝えるようにしている。	・訪問実施後に訪問先の担当者とのフィードバックの時間を長くしてほしいという要望もあった。訪問日程調整依頼時に、フィードバックの時間の調整可能な日等も明確にわかるように提示して情報共有の徹底を図りたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・本人の困り感の共有と、対策について支援できるように、当事者を含めた個別面談を定期的で開催していきたい。	・本人を交えての時間調整が難しかった。(部活や習い事等があり、学校終了後の時間調整が難しい。)	・本人に相談してよかったと感じてもらえるように信頼関係の構築を図る。 ・土曜日や短時間授業の際などを利用して連絡してみる。
2			
3			